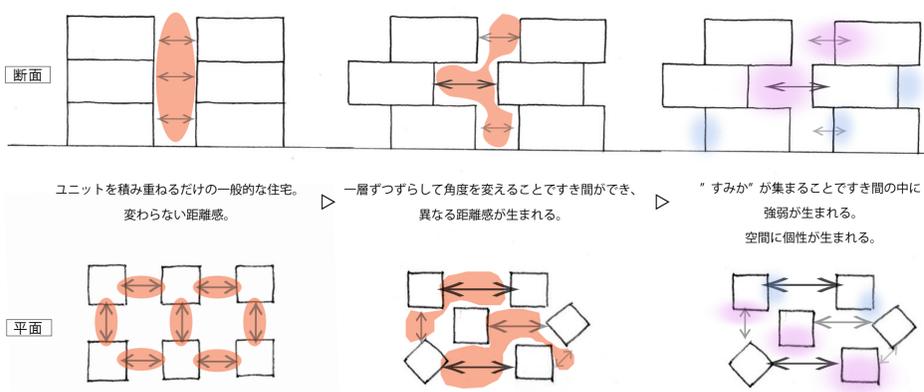


# 巣みかの中のすき間



人が持つ個性のように、住宅にも住む人によって変わる表情がある。  
 密集する中でもプライバシーが守られつつ、互いの存在を感じることができる”すみか”を持つ。  
 ”すみか”が集まることでできるすき間の強弱にオモテとウラの表情が現れる。

## ■ダイアグラム

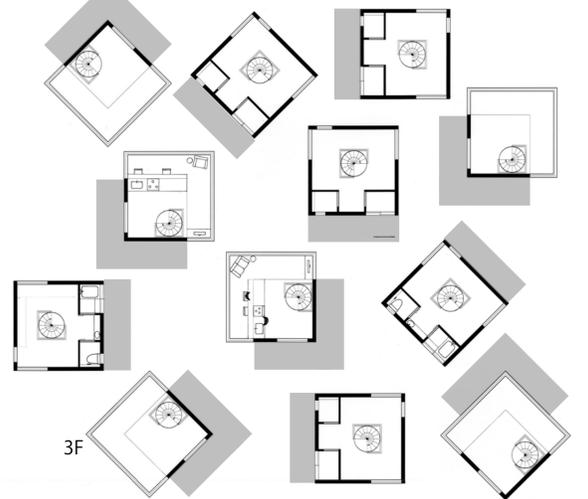


## ■敷地



千駄ヶ谷と北参道間に位置する、「ダガヤサンドウ」として注目を集めるエリアに集合住宅を計画。歴史を感じさせる一方で、新国立競技場の計画区域でもあり、懐かしさと新しさが混在する地域である。

## ■平面図 (1:200)



## ■オモテとウラの表情

### オモテ

そこに暮らす住人の暮らしが伺える、その家の顔とも言える空間。食事や趣味の時間、くつろぎ、12個の異なる顔が見えてくる。

すきまの中に生まれた個性の中にオモテとウラの表情が表れる。

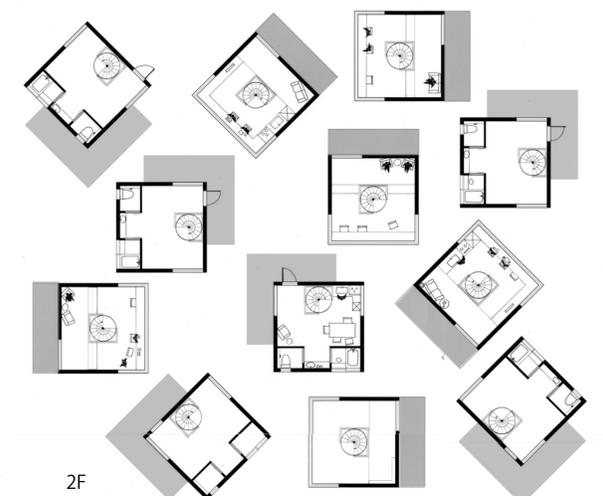
### ウラ

他人の視線を気にすることなく、住人が自分だけの時間を楽しむことができる。そっとくつろぐ特別な空間。



歩いていくと見えてくるくつろぎ。団欒が家の明るく楽しい顔に。

人が歩き、外へ向かってくつろぐオモテの中にもそっと隠れたウラの空間がある。



## ■断面図 (1:100)

